

町政を問う！



田中豊文 議員

大島大橋送水管断水事故

問 断水事故は予見できなかったものであり、設計施工には問題はなかったということであったが、原因究明の議論がないまま、責任の所在に言及し対策を講じることは何の再発防止策にもならないので、原因究明を引き続き求めていく必要がある。今後予定されている浮島の海底送水管の工事で同様のことが起きないよう、設計施工の段階で十分な管理をすることが町の責任と考えるが、町としての認識を問う。

答 柳井広域水道企業団へ要望書を提出し、支持金具の設置などに前向きな回答をいただいで

おり、今後も、本町の要望事項に対する早期実現に向けて取り組んでいく。浮島の海底送水管布設工事においても、材料使用承諾の段階で協議をして慎重に対応したい。

町民からの要望や

意見の取り扱い

問 要望や意見を町政に反映させるために、要望等の提出方法や受け取った要望等をどのように処理するのか、実施すべきものでも予算等の関係で実施できなかったものはどのような方法で追跡し実現を図っていくのかなど、どのようなシステムで運用しているのかについて問う。

また、役場に対して意見等が言いにくいという声もあり、接遇面を含めた対策を求める。

答 ホームページでの町政への提言、総合支所等の提言箱、ワンテームディスプレイション、自治会からの要望などを受け付けており、限られた予算の中で実現が図られるよう努力してい

る。オープンな姿勢で町民からの意見はしっかり聞けるよう、接遇面も含めて努力していく。

公共施設管理方法の統一

問 6月定例会において公民館等の空調料金の統一や手続きのワンストップサービスについては検討するという答弁があったが、その後の検討状況について問う。公民館は町民のために、住民の教養の向上や健康の増進、生活文化の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的としている重要な施設であるが、使用料における受益者負担の基本的認識と料金設定方針などについての認識を問う。

答 利用者によりやすい使用料金体系にするとともに、利用者にとって便利なサービス提供ができるような改善に取り組んでいきたいと考えており、町民の社会教育活動等の拠点として、公民館活動を阻害することのないよう配慮して検討をしていきたい。

災害対応に関する

情報の収集と発信

問 災害時における情報収集・情報発信は自治体の使命と言え、被害状況をホームページで公表することやケーブルテレビの活用など、災害時の情報発信に対する今後の取り組み方針について問う。

答 被災情報については、山口県が公表する「防災やまぐち」への報告を基本とするとともに、今後は速やかな状況把握のため、迅速な災害状況の把握に努める。



町道日見奥畑線（東屋代地内）